

事業評価票

45	新たなアレルギー疾患対策の展開 (福祉保健局健康安全部/一般会計)	事業開始	昭和 61 年度
		事業終了予定	平成 - 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患は多様な病態があり、生活環境に係る様々な要因で発生し、適切な自己管理が必要となる慢性的な疾患である。重症化や死亡は自己管理の不良を原因とするものも多く、適切な治療を受けるための情報提供を行っていくことが必要である。 ○ 乳幼児期に何らかのアレルギーを発症する子供は多く、また食物アレルギーによる子供の死亡事例も発生し、学校や施設での緊急時における対応力が求められている。 ○ アレルギー対策に的確に取り組むためには、り患者数や病態、受診状況、患者の生活環境等を把握した上で、効果的な取組を行っていく必要がある。 	
根拠法令等	アレルギー疾患対策基本法

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患に関する相談に対応する保健医療従事者向けの研修や、地域で診療に従事する医師向けのアレルギー疾患の診療に関する研修会を実施 ○ 基礎知識や疾患の動向、自己管理の方法等に関する都民向け講習会や各種リーフレット等により、情報提供を実施 ○ 5年おきにアレルギー疾患に関する3歳児全都調査及び施設調査を実施するなど、疾患状況の把握を適宜行っている。 ○ 子供の食物アレルギーによるアナフィラキシー等の発生時に備え、緊急時対応マニュアルを作成するとともに全ての保育施設を対象とした緊急時対応研修を平成25年度から実施 	

【財務局評価】

3	どのような課題や問題点があったか
<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者がそれぞれの病態に応じた適切な治療を受けるための情報を入手できる環境が十分でない。また、重症化の予防や症状の軽減のための自己管理、生活環境の改善に役立つ情報を、最新の知見を踏まえて提供していくことが重要である。 ○ アレルギー疾患症状は生命の危険を伴うこともあり、患者が日常生活を送る学校・施設等では、施設全体での組織的な取組が求められる。 ○ 緊急時には、学校・施設が医療機関等の関係者とも連携して対応できる体制が必要である。 ○ 効果的な施策を実施するためには、り患状況や医療機関などの社会資源等の情報を把握するとともに、最新の知見や専門的な視点に照らした検討を行うことが必要である。 	

4	局として、事業をどうしていきたいか						
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他				
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患情報を総合的に提供するポータルサイトを設けるなど、専門医・医療機関、自己管理、生活環境改善、緊急時対応等の情報入手を容易にする。 ○ 施設等における組織としての取組強化を図るため、新たに対応体制強化研修を実施する。 ○ 検討委員会や地域における会議・研修等を活用し、関係機関の連携強化を図る。 ○ 施策推進の基礎となる疾患に係る調査等を実施すると共に、専門的視点からの検討を行い、効果的な施策に繋げていく。 							
歳入	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>26年度決算額</td> <td>13,142 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>14,397 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>21,253 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	13,142 千円	27年度予算額	14,397 千円	28年度見積額	21,253 千円
26年度決算額	13,142 千円						
27年度予算額	14,397 千円						
28年度見積額	21,253 千円						
歳出	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>26年度決算額</td> <td>24,291 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>22,530 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>49,695 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	24,291 千円	27年度予算額	22,530 千円	28年度見積額	49,695 千円
26年度決算額	24,291 千円						
27年度予算額	22,530 千円						
28年度見積額	49,695 千円						

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患患者は増加傾向にあり、死亡事例も発生しているなか、制定されたアレルギー疾患対策基本法に基づき、取組を強化する必要性は認められる。 ○ また、既存の講習会の開催方法を見直すなど、経費精査を行っている。 ○ 今後の施策展開については、平成28年度に策定予定のアレルギー疾患対策推進計画を検討する過程のなかで、整理していく必要がある。 	

6	28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部経費を精査した上で、所要額を計上する。 					
歳入	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>19,679 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	19,679 千円		
28年度予算額	19,679 千円				
歳出	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>47,472 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	47,472 千円		
28年度予算額	47,472 千円				